

【開催レポート】9/26 コレクティブふくおか+ 実践プログラムがスタート！！

Collective Fukuoka Plus

# コレクティブ ふくおか+

NPO法人ドネルモ 事務局長  
宮田 智史 さん



## 9/26(日)

19:00 - 21:00  オンライン

2012年、超高齢社会に向け、「自分たちの暮らしを自分たちでつくる」文化的な社会を目指して、高齢社会のコミュニティづくりに取り組むNPO法人ドネルモを設立。

### 【開催レポート】実践プログラム① オリエンテーション・チーム分け

こんにちは！コレクティブふくおか+事務局です。

2021年9月26日、「コレクティブふくおか+」の実践プログラムが始まりました。福岡市内の大学生から社会人の方を中心に29名の若者が集い、講師の方と共に、これから始まるプロジェクトに心躍らせていました。

#### 開会の挨拶



山口課長：このプログラムのテーマの市民公益活動は、地域や社会に貢献することであると同時に、市民公益活動を通して地域や社会に関わっていくこと自体が、その人の人生をより豊かにしていくものではないかというふうに考えております。これから新たな挑戦の一步として、半年間という長い期間ではございますが、ここでの学び、実践者の先輩方や仲間との出会いが皆様方と福岡市の未来をより豊かにすることを願っています。

地域や暮らしをよりよくするための活動を実践者から学ぼう！

〈講師〉「自分たちの暮らしを自分たちでつくる」文化的な社会を目指して、高齢社会のコミュニティづくりに取り組むNPO 法人ドネルモの事務局長の 宮田 智史 さん



### 地域デザインの学校

福岡市内外にて5年間、計19地域で開催

地域の「支えあいのかたち」を豊かにするための、担い手づくり、企画作りのプロジェクト

- 平成26年~平成28年度まで福岡市市民局コミュニティ推進課との共働事業として実施
- 30~50代の、これまで地域活動に関わりがなかった人たちが主な対象
- やりたいことや興味のあることから、自分たちの暮らしを豊かにする企画を作り、地域で実際にやってみる講座
- 空き店舗をDIYしたコミュニティスペースづくり、留学生との交流企画など、現在も約17チームが活動継続中

9

### いわゆる「社会貢献」の様々なかたち

「人」にはいろいろな役割や立場があって、その中でいろんな社会に対する貢献のかたちがありますよね？

13

宮田さん：「世の中をよくしたい」という気持ちはとても大事なことだと思います。ただ、その志や思いにかかわらず、世の中をよくしたいという動機からはじまった取組みが、全く反対の出来事を引き起こしてしまうこともあります。

「問題を知っていること」と「問題の解決方法を知っていること」は必ずしも同じというわけではないんですね。ですので、世の中をよくしたいという取組みを考える際、「よい」とは誰にとってどのようによいのか、もしかすると変わるべきは自分自身や社会の側かもしれないという視点を持っていてほしいなあと思います。決して答えは一つではありません。そうした視点を持ちながら、これからの長丁場のプログラムを頑張ってみてください。

リンク先：

<http://donnerlemot.com/>

### 各参加者の関心のあるテーマに基づきチームを作る

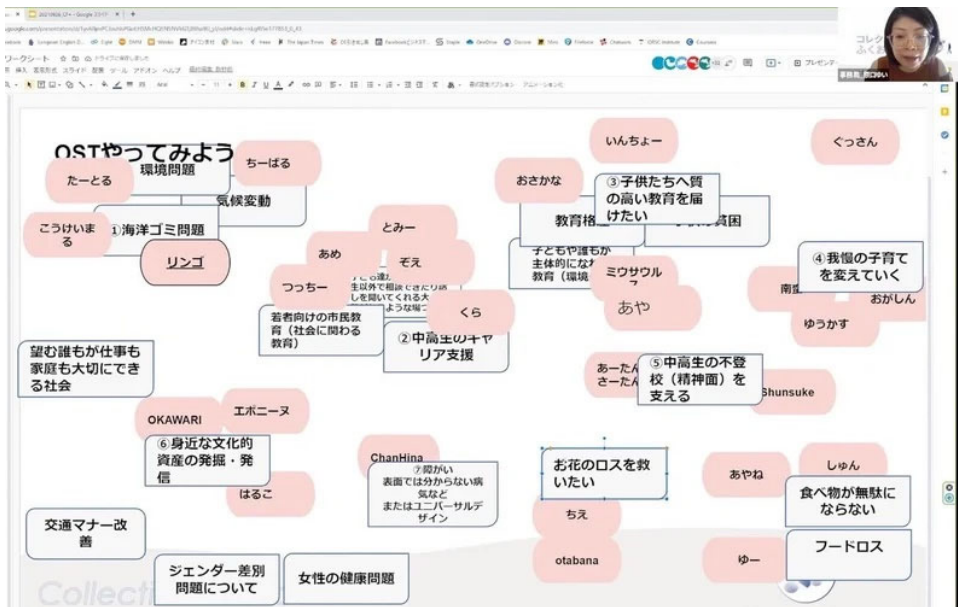
参加者の関心ごとや話したいテーマを出しあい、OST(オープン・スペース・テクノロジー)を採用したブレイクアウトルームでは、参加者は、どのテーマに参加することも自由で、自分が選択したテーマに気持ちが向かないと感じたときには、そのテーマが話し合われるルームから自由に移動することができます。



OSTやってみよう！

- あなたは、このプログラムでどんなことにとりこんでみたいですか？
- 義務感や、べき論ではなく、自分ごととして「こんな世界になったらいいな」と思える世界は、どのようなものでしょうか？
  - 誰でも自由に学べる世界
  - 地域のなかでつながりを感じられる世界
  - 食べ物が無駄にならない世界...

Collective Fukuoka Plus



## プロジェクトチーム

参加者の関心ごとから、10個のテーマに取り組むプロジェクトチームが立ち上がりました。

1. 持続可能な環境づくり
2. 中高生の人生設計
3. 子どもを取り巻く環境と格差
4. 仕事も子育ても大切にできる社会づくり
5. 中高生の不登校精神面を支える
6. 身近な文化の発信
7. 目に見えない障害とユニバーサルデザイン
8. フラワーロス
9. フードロス
10. 子どもの居場所

## 参加者の声

実践プログラムにご参加いただいた方をご紹介します。

社会問題を解決したいとすることが逆の結果を生んでしまうことがあるとお話しされた印象的でした。各々が様々なことに興味をお持ちのことに驚きました！

良くしたい、なにか変えたいという気持ちが空回りすることがよくあります。それは誰にとって良いことなのかを想像するのは必要だと気付きました。個人的に面白かったのは、そのモノの価値を民が決める流れができた事です。基準や捉え方は人それぞれで良いと共感しました。

今回は、NPO 法人福岡すまいの会 理事・事務局長の服部 広隆さんにご登場いただきます。社会課題への接し方、倫理観について、対人支援にこれまで取り組んでこられた経験から語っていただきます。またグループワークでは、市民公益活動の実践者の現場を知るためのフィールドワークを行う心構えや、どんな方に取材に伺うかなどを考えていきます。